

SC-IB News '15.08

コミ&事務局通信
18/AUG/2015



<http://www.scout-ib.net/>

◆ 標準団を目指すということ その3

山口での世界スカウトジャンボリーが、ものすごい熱気と興奮の中終了しました。県連の23WSJフェイスブックに各隊の活動の様子が掲載されています。ぜひご覧ください。

参加隊の指導者達は「スカウトに最高の体験させて、成長へと繋げたい」というBESTを目指す姿勢のチームとして素晴らしい働きをされました。頭が下がります。本当にありがとうございました。

また、ホームステイもホストファミリーや各地区の担当者のおかげにより、大変思い出深いものになったようです。土浦駅でのお別れの様子を見て、お願いしてよかった、と感じました。ありがとうございました。

さて、では、先月の続きにまいりましょう。今回は意志決定について話をします。

ご存知の通り、日本の社会は、「根回し」文化です。しかし、今の日本連盟のやり方は、上意下達。ほとんど事前のハウレンソウはなく通達されます。なので、反対や不満があちこちですべてあります。県連も、理事会で説明はしていますが、それが地区や団になかなか伝わりません（なので、この「コミ&事務局通信」が登場したのですが・・・）。

理事会で、今年の茨城県連の重点目標が決議され、さらには年次総会でも反対意見なく決議されました。この「標準団を目指す」ということが、つまり、茨城県に属する全ての加盟団・加盟員の総意としてそれが決定したのです。よく言われる「総論賛成」です。では、

各論としての「各団」での取り組みについての議論は、その後、されているでしょうか？ボーイスカウトの組織ですから、会社とは違って稟議とかワークフローとかの公式な手順はありません。あるのは団委員会であり団会議です。ここできちんと議論しましょう。では、何を議論するのでしょうか。いくつか例をあげてみます。

- ① どうしてスカウトの数が減ったのか
- ② 指導者の意識はどこに向いているか
- ③ 保護者と指導者、または指導者同士のコミュニケーションはできているか
- ④ スカウト精神を指導者はもちろん、スカウトも持っているか
- ⑤ 保護者が求めている価値・想いを提供・実現できているか
- ⑥ 野外の活動的なプログラムと班を活かした活動になっているか
- ⑦ プログラムに想定とストーリーがあるか
- ⑧ スカウトが今のプログラムに満足しているか
- ⑨ スカウティングにあるべき規律があるか
- ⑩ 団は、指導者の訓練をしているか
- ⑪ 団は適切な運営をしているか

・・・
まだまだいろいろあるでしょう。できていなくても犯人追究になってはダメです。問題点に対し、客観的に検証して、原因を探しだします。それを目的に照らし合わせてスカウティングのやり方で解決していくのです。そんなこと、百も承知だと思いますが・・・。

では、それをどのように「標準団」へと繋いでいくかですが。団委員長セミナーのパネラーのお二人は、団を興した方ですから、強いリーダーが強烈な責任感でどんどん進めて行けました。しかし、多くの団委員長は、そうではないので、このようなやり方は馴染まないでしょう。あくまで、合議でものごとを決めることを基本にしながらも、意志決定の阻害要因を解消していくかをきちんと考え抜くほうが、日本的なのでしょう。ただ、日本は、建設的に物事を議論する風土が欠如していて、そこに問題の根本原因があるのですが（だから、言い出しっぺに責任が集中してしまう）、反対意見に正面から向き合って、建設的に議論しながら結論を出さなければならぬにもかかわらず、反対を受けたら一気に思考が停止し、討論が止まってしまうんですね。それを防ぐには「**意志決定に期限を設けること**」「**短いサイクルで見直すことを宣言する**」とです。要は、効果がでなかったら変更することを前提として、短い期限を付けて意志決定をするのです。

ここで重要なのは、失敗を咎めることなく、上手くいくまでやり続ける覚悟であり、失敗は成功に至る学習でしかない・・・という姿勢を貫くことなのです。

余談ですが、県連規約は数年前に制定されましたが、早くも改訂しようという動きがあります。環境変化の激しい現在、意志決定と行動のスピードを速め、直すべきものは直すという姿勢でいきたいものですね。

◆ 新しい記章・標章とその着け方

先月号では、新しいユニフォームについて掲載しました。今回は、新しいユニフォームに着ける新しい記章・標章について説明します。

● 記章と標章のちがい

スカウトの制服には、どの国のスカウトであっても「世界スカウト記章」(右:右手側)をつけます。これは「ちかい(やくそく)」をたてて世界のスカウトの仲間になったこと、そしてスカウト一人ひとりが「おきて(カブ隊のさだめ)」を守って友情を深めることを示しています。カブ以上の新制服には、右のポケットの上に縫い付けてあります。

また、制服につけられた各種の記章や標章は、自分の所属する地域、団、隊、役務、進歩の状況、取得した技能、参加した大会などが一目で分かります。自分が一員である地域社会、支えてくれている人々、自分の果たすべき役割、自

分が努力して社会の役にたつ準備を着々と進めていること、積極的に建設的な役割を果たそうとしているスカウトの精神がそこに表れています。

「記章」はその人がどの区分のどの位置づけにあるのかを表し、「標章」はその人の所属を表しています。

制服と同様に、記章や標章も日本連盟が定め、加盟員のみがそれを着用することが認められています。また、制服につけられる記章・標章と位置は、教育規程によって細かく定められています。

● 変更された記章・標章

今回の改訂で、変更になった記章・標章は次の通りです。

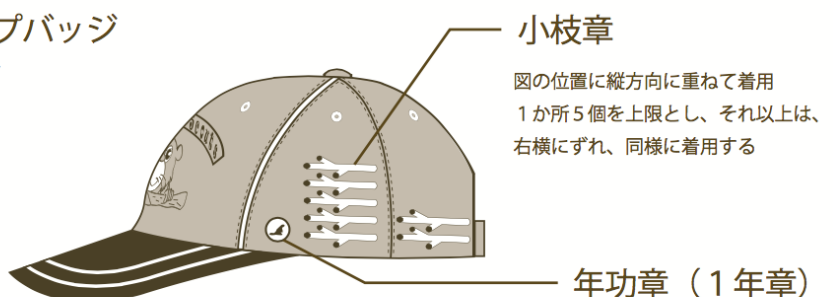
ビーバー	廃止	県名章、所在地章、団号章
	変更	ビーバーマーク
	変更無し	小枝章・年功章 (着用場所はキャップに変更)、木の葉章
カブ	廃止	クリア章
	変更	上進章→月の輪章、りすバッジ、ステップ章→進級記章 県名章、所在地名章、団号章
	変更なし	チャレンジ章、組長章、次長章、年功章、組別章
ボーイ以上	変更	県名章、所在地名章、団号章

● 記章と標章のつけ方

新しい記章・標章は、ビーバーは下図のようにビーバーキャップに着けます。

カブは、次のページにあるように着けます。県名章と所在地名章、そして団号章は、今までと違って、全て接するように着けます。これはボーイ以上でも同じです。進級記章は、左胸

ポケットのフラップの下の部分の縦横の中心にりす、うさぎ、しか、くまの各進級記章の頂点に来るように着けます。ボーイ・ベンチャーの記章は、ポケットの縦横の中心と記章の中心が一致するように着けます。位置はきちんと正しく着けましょう。



		H27.4	9
ビーバー	旧制服		
	新制服		
カブ	旧制服		
	新制服		
ボーイ以上 指導者	旧制服		
	新制服		

※この期間は、新ユニフォームに旧記章を着け、9月以降に新記章に着け替えます。
※旧制服の記章は、そのまま H30/8/31 まで着けることができます。



県連事務局では、新記章の受注を開始しました。

①と②は、現在大変混み合っており、納期は発注後早くも2ヶ月になっていきます。お早めに注文ください。

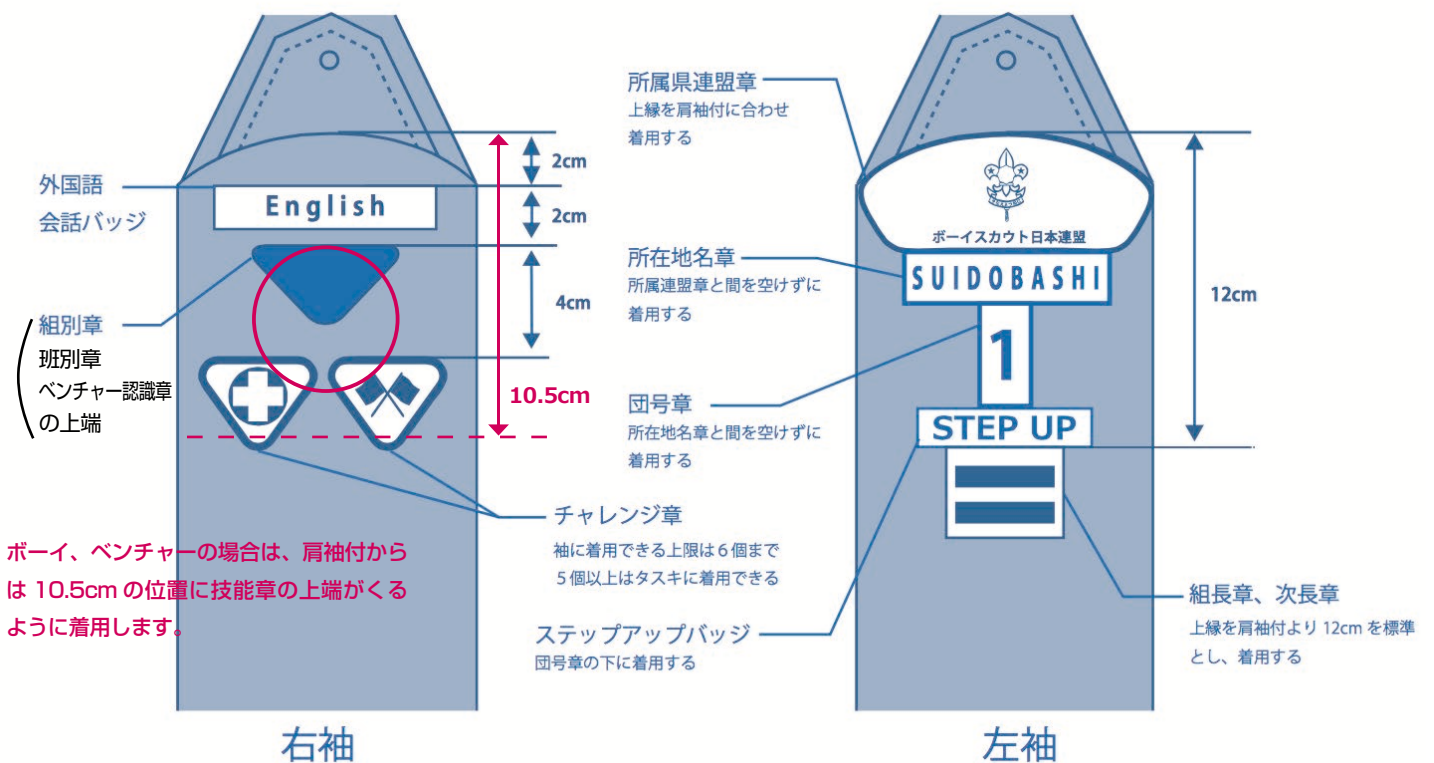
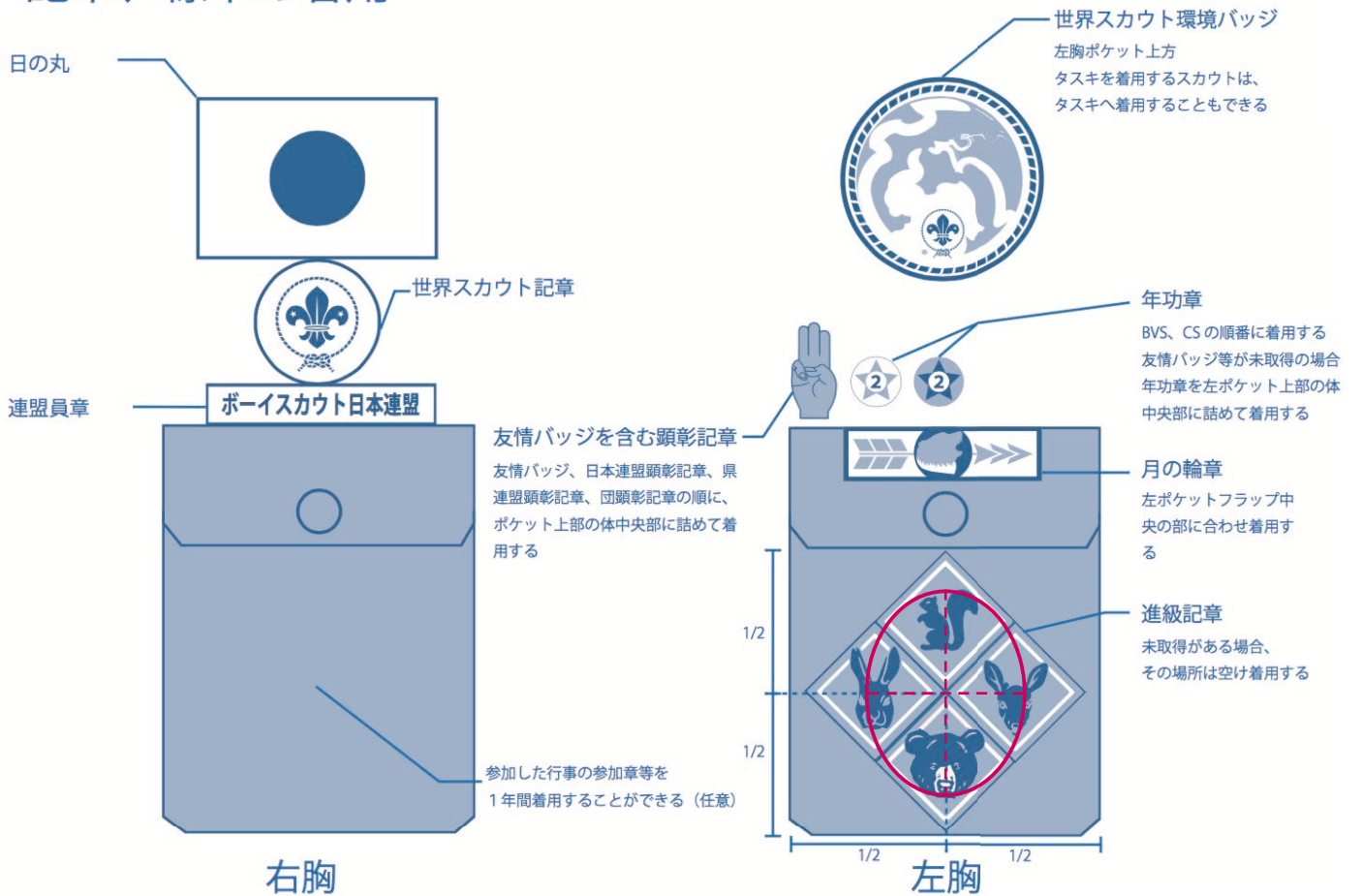
①県連盟章 (1枚/¥250)

②所在地名章 (1枚/¥160)

1枚売り。地名はローマ字表記を注文書に明記する。

③団号章 (1枚/¥100)

記章、標章の着用



ボーイ、ベンチャーの場合は、肩袖付からは10.5cmの位置に技能章の上端がくるように着用します。

◆ 県連ホームページの「団紹介」ページの活用を!

リニューアルされた、県連ホームページはいかがでしょうか?

茨城県連のホームページは、前のときも、基本情報の他に、スカウトや指導者がスカウティングを楽しむためのヒントや参考資料が多数掲載されていました。そのため、県内の指導者だけでなく、県外の多くの指導者も茨城県連のホームページを見に来ていました。今回のリニューアルでもしっかりそれを踏襲、いや、パワーアップして、ボーイスカウトを元気にするべく取り組んでいます。

さて、今、ボーイスカウトは岐路に差し掛かっています。このまま何もせず寂しく行くのか、心機一転、元気を取り戻して、楽しく若々しいボーイスカウト活動を行うのか・・・です。元気を取り戻すための対策のひとつが「標準団」を目指そう! という団全体の意識の改善の取り組みです。そして、ひとつひとつ課題をクリアして、きちんとした団の運営を手に入れることです。それを成し遂げることで、初めて保護者や地域から信頼されていきます。これは基本中の基本です。そのため、「ウチの団は、このような方針で、このような仕組みを作って、指導者を育てて、スカウトたちに良い教育活動を提供していきます!」と宣言することはとても大切なことで、それを実現するために、団委員・指導者がそれぞれの立場で、ベクトルを合わせて取り組んでいくのです。

団を元気にするためには、これをまずしなければなりません。しかし、一方では、その取り組みが途中であって、成果が出ていなくても、地域の方や、入団を考えている方(保護者)知ってもらわなければ、つまりスカウトや資金の供給がなければ、団は衰退の一途をたどることになります。そのためには、団自らがその情報を提供しなくてはなりません。提供するには、いろいろな方法が考えられますが、最も現代に即しており、かつ効果があるのが、団のホームページです。その団ホームページへの「窓口」として、大きな役割を果たしているのが、県連ホームページの「各団紹介」のページなのです。

ボーイスカウトに入れたいと思う保護者は、まずネットで「ボーイスカウト、茨城」というキーワードで検索します。すると最初にヒットするのが県連のホームページです。そこから、団紹介のページ→それぞれの団のページへと行き、そこに書かれている団の情報を比較検討して、次に、ようやくそれぞれの団のホームページを見に行きます。つまり、県連の団紹介ページに情報の掲載がない団は、直接検索してもらう以外、ホームページを見ても見えないということなのです。

また、保護者は、自分の子どもの教育の一部を委ねるわけですから、とてもシビアに厳しい目で、団や隊をホームページで比較し、検討・確認して「信頼」できる団を探していきます。その時に十分な情報や求める情報がなかったならば、その団を「信頼」することはありません。つまり、その団は選択肢から外れることになってしまいます。今の募集対象年齢の若いお父さん・お母さんは、チラシではなくネットで団を探すということをはあたりまえで、特に都市部ではそれが顕著であることをご理解ください。キーワードは「信頼」です。

「信頼」される第一歩は、県連の団紹介ページにきちんとした情報を掲載することです。そこから始めましょう。次に、必ず頻繁に更新することです。更新するタイミングは、隊や団の活動の連絡、そして報告の度に更新するのがいいでしょう。「きちんとした情報を掲載する」「活動計画と報告をタイムリーに掲載する→更新する」ができないのであれば、団のホームページの存在は、かえって信頼をなくすものとなります。

スカウトを増やし、元気に団を取り戻す道のりは、Long and Winding Road です。そして、多くの問題をひとつひとつ片付けていなくてはなりません。県連ホームページの「団紹介」ページへの掲載

The screenshot shows the Ibaraki Scout Association website. At the top, there's a navigation bar with links like 'Top', '最新情報', '県連情報', 'ボーイスカウト案内', 'ハウディスカウト', 'リーダーズクラブ', '資料センター', and 'その他'. Below that, a sidebar lists 'ボーイスカウト案内' with sub-links: 'ボーイスカウトとは', '県内各団情報', '指導者はこんな人たちがスカウトになる!', 'ユニフォーム・別冊', and 'そこが知りたいQ&A'. The main content area features a 'TI' (Town Introduction) icon and a map of Ibaraki Prefecture divided into six regions. Below the map is a legend and a list of districts for each region:

- 第1地区**: 日立第5団, 日立第6団, 日立第7団, 日立第9団, 北茨城第1団, 常陸太田第2団
- 第2地区**: 水戸第1団, 水戸第2団, 水戸第4団, 水戸第5団, 水戸第8団, 水戸第9団, 水戸第10団, 水戸第11団, 水戸第12団, 水戸第13団, 水戸第14団, 水戸第15団
- 第3地区**: 鹿嶋第1団, 鹿嶋第2団, 茨城第1団, 下妻第1団, 鉾田第1団, 常陸大宮第1団, 常陸那珂第1団
- 第4地区**: 石岡第2団, 石岡第3団, 神栖第1団, つくば第1団, つくば第2団, つくば第3団, かすみがら第1団
- 第5地区**: 上浦第2団, 上浦第3団, 上浦第4団, 上浦第5団, 上浦第6団, 水戸第16団, 水戸第17団, 水戸第18団, 水戸第19団
- 第6地区**: 利根第1団, 利根第2団, 利根第3団, 利根第4団, 利根第5団, 利根第6団, 利根第7団, 利根第8団

は、その1つであることをご承知ください。決して解決策ではありません。しかし、解決のために欠かせない手続きの1つであることをご理解ください。掲載情報の提供、更新依頼は、随時受け付けています。

今、すぐ団の情報を事務局に送りましょう。

県連ホームページ: <http://www.scout-ib.net/>

■ボーイスカウト日本連盟は、映画

「GAMBA ガンバと仲間たち」

を応援します。

今から約40年前の1972年に刊行された一冊の児童文学「冒険者たち ガンバと15ひきの仲間」(斎藤藤夫著)。小さなネズミを主人公にしたその壮大な冒険物語は、子どもたちのみならず、大人も魅了し、幅広い年代に愛されてきました。そんなストーリーが今年の10月に3DCGアニメーションとして誕生します。

キャッチコピーは「仲間って、勇氣」。主人公のガンバが持つ「強い意思」と仲間たちが一つになってこそ生まれる「強い力」、仲間たちの大切さに焦点を当てたこの映画を、ボーイスカウト日本連盟は応援いたします。

●映画「GAMBA ガンバと仲間たち」
公式サイト <http://www.gamba-movie.com/>